

皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。社内向けの情報誌、第2号です。今回は、交通安全祈願と商売繁盛の今入りについてと、物流の最先端が紹介されている大阪で開催された展示会の報告です。

初詣はどこにお参りへ？

子どもの頃に、除夜の鐘を突きに出掛けるとき、ワクワクしていましたよね。年末のあの独特の慌ただしさと深夜ということもあって、お寺で同級生と会ったりすると、すごい特別感があったりしました。そして翌日の元日でも、近所の神社などにお参りに行くくと、普段着ではないオシャレをした友達に会ったりもして、これまたイベント感満載な気分になったものです。

お参りは、本来そんな感じが良いですね。毎日が特別キラキラしまくりでよろしくです！ということではなく、毎日色々あるけど基本的にいつも楽しく元気に送れますように、というのを、思い付いたときにふらりと近所でお参りする、といえますか。それ

が日々の生活でそこそこのお参りの回数になると、例えば毎月初日のついたち参りや十五日参りで慣習になったり。自宅などで、神棚にしても仏壇にしても、お参りするときには自然と身についているひとつの作法があります。

例えばお花を飾るとき、あちら向きではなく私たち側のこちら向きで綺麗に整えますよね、お供えなのに。あれは、そうやって整えることで、飾るのではなくお参りする私たち自身の心を整えているんだそうです。



交通安全と商売繁盛祈願

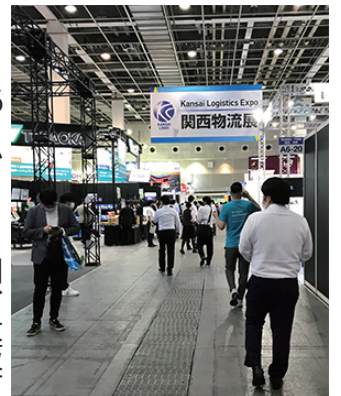
ご存知の方も多いでしょうが、コア物流役員がお参りに行くのは、高千穂町の神社、八大龍王水神です。今月は、天赦日と一粒万倍日に重なる今年最後の15日の吉日に車2台でお参りしてきました。朝6時過ぎに会社へ集合して高速道路経由で向かい、途中川南のサービスエリアでしばらく休憩しましたが、朝9時には良いお参りができました。

祈願は、毎日の皆さんの健康、交通安全、そして会社としての商売繁盛。神殿の前に立って礼拝するときの、あのピリッとした感覚を持つことで、運転の姿勢だったり取引の応対だったり細かい部分にまで「初心を忘れないように」という「喝」が、毎回入ります。

日々の仕事には、どうしても慣れが出てくるものです。勉強して実践して応用して身についた成果ではあるのですが、仕事の作業効率が高まる分、その慣れが油断や甘えとなって、取り返しのつかないことにまで膨らんでしまうことだってありますよね。

そんなとき、神社で鐘を鳴らして柏手を打つ感覚を思い出してみませんか？深呼吸してからパンパン！という音でリセットして、今日の仕事に臨む。無事に安全に。

第2回 関西物流展



6月16日から3日間、大阪市で開催されました。マスクは二重、ゴーグルのようなメガネを着けて、携行用除菌剤もポケットにと、考えられる感染対策をバッチリでの、2日間の参加でした。物流に関することは、大型機器から倉庫物件や採用人事など、何から何まで紹介されています。会場もかなり広く、ぎっしり詰まったブースをほとんど回って資料をもらって話を聞いて、という作業と同時に、会場内に設置されたセミナー会場では、事前に調べておいた色々な勉強会にも片っ端出席して情報を仕入れて来しました。

一泊だけですが天下の台所である大阪なので、夜の食事なんかも楽しそうではあったのですが、ニュースで報道されているようにアルコールの提供もなければ20時にはぴしゃり閉店します。残念でしたが、初日だけで二万歩も歩いて、翌朝には足がパンパンになってたほどのです。その時間でホテルに帰ったらずぐに寝てしまいました。

今回の展示会で思ったことです。機械の導入に伴う人員削減でコストカットを目指そう、という面と、細やかなサービスにはこういう人材育成プログラムで優秀な幹部候補生を、という面があるんですね。パッと見たところ矛盾する取り組みですが、効率を上げてコスト削減、という視点に関しては結局同じ話です。経営者視点で考えれば、新たな設備投資や社員への報酬などのためには、利益増強が大前提です。それにはあらゆるコスト削減が常に課題です。では、無駄を抑えて利益を出して、というこの無駄とはそもそもなんでしょうか。そこを単純に人員だ、とは言いたくない環境にしたいし、なってほしいものだなと改めて感じたところです。7月も頑張っていきたいと思います！

「**これまでも
これからも**アりがとう
みやこ専務の



空いた時間に各人が何かを見つけ、率先して色々取り組んでくれていること、大変頼もしく感じている今日この頃です。ありがとう。

今月は高千穂に6名で行ってきました。いつも思うこと。神様も願い事が多くて大変だろうなと思いますが、何かあることに守ってもらっているなと感じることが多く、いつも感謝です。

【7月のお誕生日】

- 2(金)○○○○さん
- 3(土)○○○○さん
- 5(月)○○○○さん
- 15(木)○○○○さん
- 17(土)○○○○さん
- 28(水)○○○○さん

